

令和4年度実施施策に係る政策評価書

(環境省R4-25)

施策名	目標5-6 東日本大震災への対応(自然環境の復旧・復興)					
施策の概要	地域の自然資源等を活用した三陸復興国立公園への再編成、被災した公園事業施設の復旧や復興のための整備に取り組む。					
達成すべき目標	三陸復興国立公園の創設を始めとした様々な取組を通じて、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域の暮らしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興する。					
施策の予算額・執行額等	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	666	570	411	413
		補正予算(b)	-	-	-	-
		繰越し等(c)	-	-	-	-
		合計(a+b+c)	666	570	411	-
執行額(百万円)	647	553	391	-		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部決定) 「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針(平成28年3月11日閣議決定)					

測定指標	三陸復興国立公園(24年度までは陸中海岸国立公園)の利用者数の推移(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		H23年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R3年度	-
		458	2,827	4,101	2,336	2,803	集計中	6,994	
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-
	三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)の年間利用者数(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		H17-21年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R3年度	-
		2,975	1,466	2,415	1,211	1,208	集計中	2,975	
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-
	みちのく潮風トレイル踏破認定証の発行数(人)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R7年度	-
		-	50	15	14	33	32	50	
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-
	イノシシの捕獲数を前年度実績値以上とする。	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度	-
		-	949	2,136	2,252	1,429	188	-	
年度ごとの目標値		イノシシ等を安全かつ効率的に捕獲し、被害軽減に寄与する生息状況を目指す。					-	×	

目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり
	(判断根拠) 目標値としている震災以前の利用者数まで届いていないが、震災直後と比較して一定程度利用者数は回復している。また、イノシシの捕獲数については、平成25年度より開始し以後毎年度、被害の低減を図るため安全かつ効率的な捕獲に努めてきたが、前年度の実績を下回った。これはイノシシの出現頻度が低下し、今までの捕獲による対策の効果が現れつつあるものと考えられるため、今後、測定指標の見直しを行う。
施策の分析	<ul style="list-style-type: none"> 当該事業において、三陸地域の重要な観光資源である三陸復興国立公園(旧陸中海岸国立公園)の主要な利用拠点等の施設を復旧し、公園の利用者数も増大していることから、施策の方向性は妥当と考えているが、コロナ禍の影響により利用者数の停滞や利用ニーズの変化により震災からの復興は道半ばであるため、引き続きの取組が必要である。 特に、身近な自然の価値が再認識され、健康志向が高まる中、二酸化炭素を排出せずに心身の健康にも通じるロングトレイルの利用を新たな価値として発信し、その持続的な活用を推進することにより、国民の心身回復や交流人口の増加を図るうえで、みちのく潮風トレイルの取組を推進する必要がある。 令和4年度のイノシシの捕獲数は、これまでの捕獲の効果と豚熱による影響で大幅に減少したと考えられ、今後も豚熱からの回復に伴う生息数増加を防ぐために引き続き捕獲体制を維持する必要がある。

評価結果	<p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災によって生じた自然環境への被害からの復旧・復興を進める上で、地域を訪れる人を増やすことで、地域経済の活性化につなげることが重要であるから、三陸復興国立公園及びみちのく潮風トレイルの利用増大のための取組の実施が引き続き必要である。 <p>【測定指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜三陸復興国立公園（平成24年度までは陸中海岸国立公園）の利用者数の推移＞ <ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復興・復旧のため、引き続き三陸復興国立公園の整備等の取組を進めて行くことから、三陸復興国立公園の利用者数を次期目標においても測定指標として設定する。 ＜三陸復興国立公園内の利用拠点（集団施設地区）の年間利用者数＞ <ul style="list-style-type: none"> ・三陸復興国立公園の利用者数の推移と傾向が重複するため、次期目標においては測定指標から消去する。 ＜みちのく潮風トレイル踏破認定証の発行数（人）＞ <ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復興・復旧のため、引き続きみちのく潮風トレイルの利用促進の取組を進めて行くことから、みちのく潮風トレイルの踏破認定証の発行数を次期目標においても測定指標として設定する。 ＜イノシシの捕獲数＞ <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの捕獲の効果によりイノシシの生息数は減少傾向にあるため、前年度実績以上の捕獲数を目標値とすることは適切でなくなったが、復興に向けてイノシシの低密度を維持するため、捕獲等を適切に行う必要があり、自動撮影カメラによるイノシシの撮影頻度を前年度以下に維持することを指標とした上で、目標の達成を図っていく。
------	--

学識経験を有する者の知見の活用	—
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	自然公園等利用者数調
---------------------------	------------

担当部局名	自然環境局 国立公園課 野生生物課	作成責任者名	番匠克二（国立公園課長） 中澤圭一（野生生物課長）	政策評価実施時期	令和5年8月
-------	-------------------------	--------	------------------------------	----------	--------